

● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
経 済		
コロナショック・サバイバル 日本経済復興計画	富山和彦(著)	文藝春秋
社 会		
まちづくりプロジェクトの教科書	小地沢将之(著)	森北出版
無電柱化の時代へ 見あげたい日本の空☆復活へのシナリオ	NPO法人電柱のないまちづくり 支援ネットワーク(編)	かもがわ出版
「脱使い捨て」でいこう！ 世界で、日本で、始まっている社会のしくみづくり	瀬口亮子(著)	彩流社
進化する里山資本主義	藻谷浩介(監修)	ジャパントイムズ出版
教 育		
地域で支える子どもの貧困 これからの地域連携の課題と実践	南野奈津子・結城康博	ぎょうせい
白 書		
地方財政白書 令和2年度版	総務省(著)	日経印刷



初夏に凜と咲く



6月になり、少しずつ暑くなってきました。

この時期になると、葉っぱの緑もより鮮やかになり、草木に囲まれると思いきり深呼吸したくなります。

我が家では、アジサイを植えているのですが、毎年5月頃から、葉っぱが大きくなり、緑に色づき始め、その中から小さな花のつぼみを見つけると、とても気持ちが和みます。アジサイは、一輪一輪が横に大きく広がり成長するので満開の時は見事なものです。さらに、成長するに連れて、少しずつ色も変わり、比較的長く花を楽しめます。最近では、花びらのグラデーションが見事なものや、ソフトクリームのように先が尖った形のものなど様々な種類のアジサイがあり、見ていて楽しいです。

さて、今年の1月には、和歌山市ふるさと観光大使のHYDEさんが加太の森林公園にアジサイの苗木を植樹しました。これは、アジサイの学名が「Hydrangea macrophylla(Thunb.) Ser.f.macrophylla(ハイドラングア)」だということから実現しました。森林公園のアジサイの植樹は平成19年より、環境保全活動の一つとして行われています。世界一のアジサイ園(Hydrangea park)を目指し、今では7000株にもなっているそうです。この中にHYDEさんが植樹したアジサイがあると思うと、ファンの方なら誰もワクワクしますよね。



和歌山市内では、他にも和歌山城や養翠園などでアジサイを見ることができます。和歌山城では、鶴の溪に大小合わせて約170株植えられています。また、養翠園では「あじさい小路」と名付けられた一角があり、この時期にだけ通れるそうです。

力強く咲くアジサイを見て、私も元気をもらい明日へのパワーにしたいと思います。



※参考資料:厚生労働省HP, 和歌山市HP, 公益社団法人和歌山県観光連盟HP